

京都検定 公開テーマよもやま話

第14回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。
 京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第23回京都検定3級公開テーマ「新選組結成160年」

新選組の知られざる生きざま

幕末に京都の治安維持に奔走した剣豪集団・新選組。今年で結成160年を迎えることとなった。もともとは江戸幕府第14代将軍であった徳川家茂の警護のために、江戸で結成された浪士組が前身で、上洛して京都守護職の会津藩御預かりの新選組となり、池田屋騒動等多くの戦果を挙げ、京都で一目置かれる存在となった。彼らはなぜ正規の幕府軍や会津藩以上に際立った活躍ができたのか。理由の一つに、入隊した隊士たちそれぞれが目録以上の腕前であつたのももちろん、強烈な反骨心を持っていたことが挙げられる。特に近藤勇や土方歳三ら、多摩の試衛館道場出身の中心メンバーは、このチャンスに名をあげて、世に自らの存在を示す気概に満ちていた。試衛館で教える天然理心流は、竹刀を使った道場剣術としては、名を

成すことはなかったが、太い木刀を振りぬくことで重厚な体さばきが身に付き、実戦では無類の強さを発揮した。さらに集団戦法を徹底し、相手を生け捕ることを原則としていたこともあまり知られていない事実だ。

当初拠点となった壬生には、新選組誕生のきっかけとなった新徳寺、隊士が過ごした八木邸や旧前



新選組の稽古場となった壬生寺



山村 純也
 株式会社らくたび
 代表取締役

川邸、稽古場とした壬生寺、新選組総長・山南敬助が埋葬された光祿寺等が徒歩圏内に集中する。今年には土方歳三の胸像が完成し、壬生寺に設置されたことも話題となっている。

壬生の後は西本願寺、さらに不動堂村へと屯所を移転したとされ、鳥羽・伏見の戦いでは、最前線の伏見奉行所に陣取った。薩摩藩、長州藩の近代兵器と火力の前に敗退したが、最後は函館の五稜郭まで戦い抜き、ぶれることなく自分たちの職務を全うした。そのひたむきな生き方に、今なお、時代を超えて共感する人も多い。

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。第23回(12月10日施行)3級新選組結成160年「2級(京都一周トレイル)」「1級(家康伊賀越えの道)伝承とその周辺の史跡」
 ※京都・観光文化検定試験®、「京都検定」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

京都検定 20周年!

記念事業を実施中です!

2003年に誕生した京都検定。受験申込者数は延べ15万人にのぼり、全国の老若男女問わず多くの皆様から愛され、おかげさまで20周年を迎えることができました。

20周年記念イベントはこちらからもご覧いただけます!▶



鶴屋吉信



京都検定
 20周年
 オリジナル
 最中

販売店舗

「京菓匠 鶴屋吉信」

- 本店 大丸京都店
- 高島屋京都店 京都伊勢丹店